

平成 17 年度 日仏海洋学会学術研究発表会

期日:平成 17 年 6 月 4 日(土)

場所:日仏会館会議室 (東京都渋谷区恵比寿3-9-25)

プログラム

午前(10:00~12:00)

1. 大気・海洋間の二酸化炭素収支を考慮した二酸化炭素挙動解析
○島根 彰男・和田 明(日大・大学院)・長谷川 一幸(財・海生研)
2. 南大洋インド洋セクターにおける乱流拡散と二重拡散対流について
○平野大輔・北出 裕二郎・松山 優治・長島 秀樹・和高牧子・石井 美帆(海洋大)
3. Characteristic of Tidal Current Observed at the Oshima West Channel in Sagami Bay
○Angmalisang, P. A., M. Matsuyama and Y. Kitade (Tokyo Univ. of Mari. Sci. and Tech.)
4. The Oceanic structures along 137 E line during the period of 1990-2002
○Bernawis, L. I., K. Shimada and J. Yoshida (Tokyo Univ. of Mari. Sci. and Tech.)
5. 透明度深における透明度板のコントラストについて
○荒川 久幸・稲田 真理森永 勤(海洋大)
6. 海底堆積粒子の定量的採取法について
荒川 久幸・○松田 あかり・益子正和・森永 勤(海洋大)

午後(13:20~15:40)

7. マイワシの加入量変動と海洋環境との関係について
○下山智美・桜本和美 鈴木直樹(海洋大)
8. 沿岸域に生育するマコンブの生育域と水温変動との関係について
○神谷徳成・和田 明(日大・大学院)・長谷川 一幸(財・海生研)
9. ^{14}C による湘南港・東浜に打ちあがるハイガイ: *Tegillarca granosa* (Linnaeus, 1758) の年代について
○黒部 典子(近畿大・生理工・遺伝)
10. 2002 年の東京湾・相模湾における光合成—光曲線の季節変化
○堀本 奈穂・伊藤 洋介・石丸 隆・山口 征矢(海洋大)
11. 東京湾湾口部の仔稚魚相の鉛直構造
○長岩理央・茂木正人・河野博(海洋大)
12. 東京湾湾口部における浅海域の仔稚魚相
丹羽 裕介・○茂木正人・長岩理央・河野博(海洋大)
13. タラソセラピーのひとつ、牡蠣療法について
○野村 正・村瀬 暁(NPO・日海療研)